

RYOYO QUALITY 京都両洋高校の特徴

「生徒の目指す力」(育成を目指す資質・能力)

本校では、「社会に出て役立つ青年として育て、次のステージに送り出す」という教育目標を具現化するため、知力・気力・体力・道徳力・コミュニケーション力の5つの力の向上を目指しています。

それらの力を本校における教育活動を通じて身につけるため、教員・生徒がより具体的な行動に落とし込めるよう、右図に示した14の「生徒の目指す力」(育成を目指す資質・能力)を設定しています。

行事、学習、進路指導、生活指導、課外活動など、本校における教育活動の全てを「14の資質・能力をいつ、どのように、どの行事・プログラムで育成するのか」という視点で再構築するとともに、生徒の成長を視覚化するためのアセスメントを全コースで実施しています。



人間力教育

7つの習慣
大切なことは、自分の可能性を信じること。そして自分の夢や目標を見つけ、その実現のために必要な考え方や習慣を身につけることです。本校では、人間力教育の中心のプログラムとして「7つの習慣」に取り組み、より良い生き方ができるように生徒の皆さんをサポートしています。



クラブ活動

体育系・文化系の多彩な活動

本校では、体育系・文化系にも多くのクラブがそれぞれの目標を掲げ、活発に活動しています。勉強はもちろん、クラブ活動にも積極的に参加することを通して、逞しさと優しさを備えた人間を育成することを目指しています。

勉強との両立もしっかりサポート

クラブ活動に全力で取り組む生徒を学習面でも支えるプログラムを充実させることと、生徒の進路希望と学習状況について、担任・進路指導部・クラブ顧問が情報共有を密に行うことで、クラブ活動に思う存分取り組みながら、自分の進路を切り開く力をつけることができます。



新しい学びの探究

京都両洋高校では、2021年度よりiPadを新入生全員に導入し、生徒一人ひとりに最先端の教育を実践します。

現代社会において、ICT(情報通信技術)の最低限の知識と技術を身につけることは必須となってきました。iPadを使った授業を通して、主体的・協働的・探求的な学びを追究し、学びの形を進化させていきます。

- 学習での活用
- 進路指導での活用
- 情報共有での活用



CLUB ACTIVITIES 多種多様な部活でキラリ!

一生懸命に取り組む、仲間と協力する……様々な行事を通して楽しい学校生活を。



WIND BAND
吹奏楽部



MEN'S BASEBALL CLUB
男子硬式野球部



MEN'S BASKETBALL CLUB
男子バスケットボール部

【競技歴】

- 宮崎県立小林高校
ウィンターカップ
1年：ベスト4、2年：準優勝、3年：準優勝
大会ベスト5、国体2年優勝
インターハイ
2年：ベスト8、3年：準優勝、3年：U18日本代表
- 筑波大学
1年インカレ：ベスト4
2年関東リーグ1部：優勝 新人戦得点王
3年U24ユニバーシアード日本代表
3・4年U22日本代表
- アインシオンホース(2005～2009)
オールジャパン(全日本総合選手権大会)
優勝2回、3位1回、リーグ戦優勝2回
- 京都ハンパニーズ(2009～2016)
B1リーグ
西カンファレンス：優勝2回
キャプテン(2010～2014)

【指導経歴】
京都両洋高校
男子バスケットボール部監督(2016～)

指導者 瀬戸山 京介
SETAYAMA KYOSUKE

【担当教科】
保健体育
【好きな言葉】
情熱、感謝!

BADMINTON CLUB バドミントン部	WOMEN'S VOLLEYBALL CLUB 女子バレーボール部	TRACK AND FIELD CLUB 陸上競技部
WOMEN'S BASEBALL CLUB 女子硬式野球部	SOCCER CLUB サッカー部	TENNIS CLUB 硬式テニス部
WOMEN'S BASKETBALL CLUB 女子バスケットボール部	AMERICAN FOOTBALL CLUB アメリカンフットボール部	CHEERLEADING CLUB チアリーディング部
SWIMMING CLUB 水泳部	JUDO CLUB 柔道部	WOMEN'S SUMO CLUB 女子相撲部
KARATE CLUB 空手道部	HANDBALL CLUB ハンドボール部	DANCE CLUB ダンス部

文化系クラブ

放送映像部	レオクラブ	写真部	情報技術研究(ITS)部
書道部	中国語クラブ	合唱(コーラス)部	家庭科部
華道部	アニメーション部	地歴部	

FACILITY 充実した施設でキラリ!

授業もクラブ活動も心ゆくまで取り組めるよう、最新・充実の施設・設備が揃っています。

第1体育館メインフロア 空調完備	第2体育館メインフロア 空調完備	第2体育館前駐車場
吹奏楽部合奏場 (HERZ Saal)	トレーニング室	プール 公認温水プール
硬式野球部室内練習場	1F	3F



SCHOOL EXCURSION 修学旅行でキラリ!

異文化や異なる言語に直にふれる修学旅行。本校ではクラブ別に本場への修学旅行を行っています。

オーストラリア AUSTRALIA
修学旅行

行事満足度の最大値はやっぱり修学旅行!
異文化体験を通じて新たな自分を発見しよう!!

学校行事において、満足度の最大値を記録する修学旅行。本校では、オーストラリアのケアンズとその周辺地域が研修先です。特にホストファミリー宅で2泊するファームステイは、皆さんにとってよい思い出となるでしょう。英語しか通じない環境に身を置き、仲間と協力し、ホストファミリーとコミュニケーションを取り合う中で、異文化理解と協力することの大切さを学ぶはず。また、修学旅行を通して、生徒の満足度が最も高いのは5日目のグリーン島観光。世界遺産であるグレートバリアリーフの玄関口にある、大自然が約6000年もの歳月をかけて作り上げたサンゴの島で、グラスボトムボートで船に乗ったまま海の中を覗くことができ、時には海ガメを見ることもあります。本校の建学の精神は「東洋と西洋の架け橋となる国際人の育成」。オーストラリアの大自然を目の当たりにし、異文化に触れることで、今まで気づきもしなかった「新たな自分」に出会えるかも?!



マンツーマンの語学研修と多彩なアクティビティ。
理想的な環境でたっぷり海外研修!

セブ島修学旅行は語学研修と海外体験の二つを軸としています。マンツーマンの英会話レッスンを2週間集中的に受講し、リスニングだけでなく、スピーキングやライティング能力の向上を図ります。日本人への指導経験豊富な講師による充実した授業をマンツーマンで受け、自身に必要な内容を自分に合ったペースで徹底して学習できる理想的な環境です。週末にはボランティア活動、マリンアクティビティ、現地の子どもたちとの交流など、豊かな国際教養を身につけることを目指す研修も予定しています。事前にセブ島の講師によるオンライン英会話を半年受講し、現地の語学研修をスムーズに受講できます。また、希望すれば2年生進級後に長期間の研修に参加することも可能です。他にもセブ島研修には、欧米と比べて留学費用が安いこと、英語を話す人口が多いこと、フレンドリーな国民性から生まれるホスピタリティがあることなど、多くの利点があります。

セブ島 CEBU ISLAND
K特進コース & J進学コース英語留学系

ドイツ & チェコ GERMANY & CZECH REPUBLIC
吹奏楽部修学旅行

ヨーロッパの人々に日本の高校生が届けHERZの演奏旅行。
今回はブラッドホルジャークホールとベルリンフィルハーモニーホールの2公演。

2019年3月から4月実施の第3回吹奏楽部修学旅行は2カ国3公演の旅でした。チェコのプラハでは観光と練習を行い、ドルジャークホールでは前回お世話になったチェコフィル首席トランペット奏者のケイマルさんとの約束を果たすべく共演を行いました。ドイツのベルリンに入り、ギムナジウム・シュティエグリッツで交流演奏会を行いました。演奏後は食堂での交流会でも仲良くなりました。そしていよいよメイン公演となるベルリンフィルハーモニーでのコンサートです。1回目、2回目の公演で好評を博したことで私たちの演奏をとても楽しみにしておられるお客さんも多く、発券後すぐに満員御礼となりました。会場では2400名の皆さんに私たちの魂の音楽が届け、最高の演奏ができました。鳴り止まない拍手とスタンディングオベーションを目の当たりにした感激と感動は生徒たちの一生の財産となったことでしょう。



Danke schön!「ありがとうございます!」
サッカー部員たちの元気な声が響きます。

2018年3月15日、サッカー部はドイツへ海外遠征を行いました。修学旅行と海外遠征の2つの側面を併せ持つ今回の行程ではまず、ドイツの歴史に触れることから始めました。実際にさまざまな施設を巡ることは教科書や映像で学習するよりも大きなインパクトがあります。そしてブンデスリーガではフランクフルトvsマイントの試合を観戦。宿泊はスポーツ合宿施設「スポーツシュール」です。代表チームも合宿を行う環境で思う存分サッカーに集中することができます。スポーツに打ち込むには最高の環境でした。地元ユースチームとの交流戦前後には相手チームと交流。国、環境、言語が違ってもボール一つで交流し、通じ合えるサッカーの持つ偉大な力、素晴らしいさを参加した誰もが感じた時間でした。ヨーロッパの文化、芸術、歴史に触れ、瞬間に過ぎた7日間。「百聞は一見に如かず!この興奮は言葉、写真では伝えきれません。皆さんも一緒に体験してみませんか?」

ドイツ GERMANY
サッカー部修学旅行